

「親子で楽しむくじゅう登山」事業報告書

事業推進室長 小宮広明

1 事業の概要

- (1) 趣 旨 登山を通して、自然の雄大さを実感するとともに、困難な課題に粘り強く取り組む姿勢の育成と自然に親しもうとする態度の育成を目指す。また、親子で活動することにより、親子が絆を深める機会とするとともに、他の家族との共同体験を通して交流する楽しさを味わう機会とする。
- (2) 期 日 平成29年10月7日（土）～8日（日） 【1泊2日】
- (3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家、くじゅう連山「扇ヶ鼻」
- (4) 参加者 13ファミリー（小学生15名 保護者14名 計29名）
- (5) 担当職員 小宮広明（事業推進室長） 安部信吾（企画指導専門職）
古賀久恵（事業推進係員） 東 寛児（事業支援室事務補佐員）
法人ボランティア4名
- (6) 講 師 薄井良文氏（研修指導員） 前田崇徳氏
- (7) 内 容 1日目：登山に役立つワークショップ（ロープワーク、登山インフォメーション）
2日目：扇ヶ鼻登山

2 成果と課題

(1) 成 果

- 参加した子供たちの感想には、「歩くのが大変だったけど、山の一番高いところからきれいな風景を見られてうれしかったです。」「山登りやロープを使ったことなど、普段できない体験ができたので良かった。」などが見られ、困難を克服して味わう達成感や体験活動の楽しさを覚えた参加者が多くいた。また、「次は今日より高い山に登りたいです。」や「富士山に登りたいと思った。」など、今回の登山をきっかけに、より高い山に挑戦したい目標をもつ参加者も見られた。
- 保護者の感想には、「経験豊かな方との登山だったので安心して登れました。部屋も家族で使えたのでゆっくり話もできたし休むこともできました。また機会があったら参加したいです。」「日頃、一番下の子になかなかかまってあげられないので、一緒に宿泊できてよかった。」などがあった。登山の指導者がいることで安心して参加できた事業であったことや家族のきずなを深めることができる良い機会となったことが伺える感想が見られた。
- 登山に向け、研修指導員の薄井氏との入念な打ち合わせを行った。また、登山前日にはスタッフミーティングで役割確認、緊急時対応の確認を行い安全に配慮した登山プログラムの実施ができた。

(2) 課 題

- 参加者の保護者の中には、脚への疲労が大きかった方も見られた。事前に登山ルートの様子や登山初心者にとっての難易度、また、登山に適した靴の着用をしっかりと伝えることが重要である。
- 今回の登山のルートの途中には、トイレがなく不便を感じた参加者もいたようだった。事前にトイレを済ませることをしっかりと伝えるとともに、できるならば、登山ルート途中にトイレが確保できるルート選定も考えたい。

3 事業の様子



薄井氏によるワークショップ



ロープワークに取り組む親子



登山インフォメーション



山での大声大会



登山の様子



「扇ヶ鼻」山頂にて



登山口に無事ゴール



閉会式